

みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

⑦

青森県

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会青森大会を契機に、障害のある子どもと障害のない子どもがスポーツ活動を通じて相互理解を深めることができるようになりますため、本県教委は本年度、文部科学省の委託を受け、「外部専門家を活用した交流及び共同学習推進事業」を実施している。

モデル校は県内特別支援学校8校。それぞれ学校や地域の特性を生かして、小・中・高校とのスポーツ交流を進めている。

本校では、私立松風塾高校とボッチャなどのスポーツ交流を行うとともに、陸上部員が県立青森東高校陸上部

子どもと障害のない子どもがスポーツ活動を通じて相互理解を深めることができますため、本県教委は本年度、文部科学省の委託を受け、「外部専門家を活用した交流及び共同学習推進事業」を実施している。

モデル校は県内特別支援学校8校。それぞれ学校や地域の特性を生かして、小・中・高校とのスポーツ交流を進めている。

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年国民

卒業生(中央)による陸上競技の実技指導 卒業生を招いて

の講演会と実技指導も行っており、講演後には

「自分も五輪を目指したい。先輩たちから

勇気が湧いた」という声が聞かれている。



他にも、弘前

との合同練習に参加したり、寄宿舎空手同好会のメンバーが市内の

大会で高校生と交流試合を行ったりしてい

る。これらの体験を通して、本校生徒は、よ

り高い目標に向かって競技に取り組むようにな

り、交流に参加した高校生は、障害者の社会参加について理解を深めることができたよ

うである。

また、東京パラリンピックを目指し、陸上競技・走り幅跳びの国際大会で活躍している校校長

Webに「事業モデル校と交流校一覧」を掲載

Webに「事業モデル校と交流校一覧」を掲載

（川村泰弘・青森県立青森第二高等養護学校校長）